

## 医師コース

### 【目的】

四国ブロックの造血幹細胞移植医療体制の底上げを図るために、造血幹細胞移植に関わる人材を育成する。

1 一般目標：G I O (general instructional objective)

(1) 造血幹細胞移植に関する専門的医学知識と技能を有し、造血幹細胞移植が適正に実施できるようになる。

(2) ドナーの安全性をも考慮し、造血幹細胞採取をおこなえる。

2 指導スタッフ名 (指導体制)

主任部長	名和由一郎
指導医	中瀬浩一、宮崎幸大、板楠今日子
上級医	櫻井安紀、上田怜 専攻医 阿部将也、井上知謙
指導者	病棟看護長 岡本奈美

3 行動目標：S B O s (Specific Behavioral Objectives)

- (1) 造血幹細胞移植の適応を判断できる。
- (2) 適切なインフォームド・コンセントを実施できる。
- (3) ドナーの適格性を判断できる。
- (4) 造血幹細胞移植のためのコーディネートができる。
- (5) 造血幹細胞移植をうける患者の評価をおこない、準備をすることができる。
- (6) 前処置治療を実施できる。
- (7) 安全に造血幹細胞採取できる。
- (8) 造血幹細胞の凍結ができる。
- (9) 造血幹細胞の輸注ができる。
- (10) 免疫抑制剤を適切に使用することができる。
- (11) GVHD の管理ができる。
- (12) 感染症の管理ができる。
- (13) 移植に特有な合併症の管理ができる。
- (14) 長期フォローアップにより、晚期合併症を管理できる。
- (15) 移植チームを結成し、運営できる。
- (16) 移植データベース TRUMP の入力をするすることができる。
- (17) 造血幹細胞移植に関する最新の情報をアップデートできる。

4 実際の業務 方略1：LS-1 (Learning Strategies) (On-the-job training)

- ① 当該疾患新規入院患者の担当医となり、指導医とともに診療をおこなう。
- ② 毎日診察をおこない、カルテ記載をおこなう。治療方針について上級医とディスカッションする。
- ③ 期間中に施行される骨髄検査、末梢中心静脈カテーテル挿入、腰椎穿刺、骨髄採取、末梢血幹細胞採取に参加する。

5 方略2：LS-2 (Learning Strategies) (勉強会・カンファレンスなど)

- ① 毎日13時半からのショートカンファレンスに入院患者のプレゼンテーションを行う。
- ② 毎週月曜日16時からのカンファレンスで新入院のプレゼンテーションを行う。
- ③ 毎週木曜日の総回診時(9時)には受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
- ④ 月2回(17時半)の移植カンファレンス(多職種)で受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
- ⑤ 期間中1回、英文論文を読み、発表する。
- ⑥ レクチャーにて移植の知識を習得する。

5 EV：評価 (Evaluation)

病院全体の評価方法に準じる。

6 研修場所

主として病棟

7 研修内容、週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	病棟回診	病棟回診	9時から主任部長病棟回診	骨髄採取
13:30	ミニカンファ	ミニカンファ	ミニカンファ	ミニカンファ	ミニカンファ
16:00~	カンファレンス				
17:15~		月2回移植カンファレンス(多職種)	内科カンファレンス		